

## 南医療生活協同組合 よってって横丁・南生協病院

1961 年の創設以来、積極的に医療・介護の面から地域展開を行っている南医療生活協同組合のサービス付高齢者住宅（サ高住）と拠点病院を見学した。駅前に立地し地域の人が気軽に立ち寄れるカフェやバー、自習室を併設するなど、いずれも医療・介護サービスの対象者だけでなく、地域に開かれている様子が垣間見られた。

また、生協本部からは、生協の事業システムや沿革、会員による事業への参画状況だけでなく、会員自らがサロンの対象となる物件を探しだし地域活動につなげる事例についても詳細な解説をいただいた。次年度の学会活動に展開が期待される見学会となった。

2016年3月5日(土) 13:30～16:30

□所在地 名古屋市緑区南大高二丁目 701 番地（よってって横丁）

□設計 (株)三橋設計（よってって横丁）、(株)日建設計（南生協病院）

・参加者 17名

・説明 大野京子氏（地域支えあいセンター本部長）、杉浦直美氏（非常勤理事）

・案内 中村隆之氏（南生協病院事務長）、大野悠祐氏（同 医事サービス課長）

<http://www.minami.or.jp/yokochou/index.html>

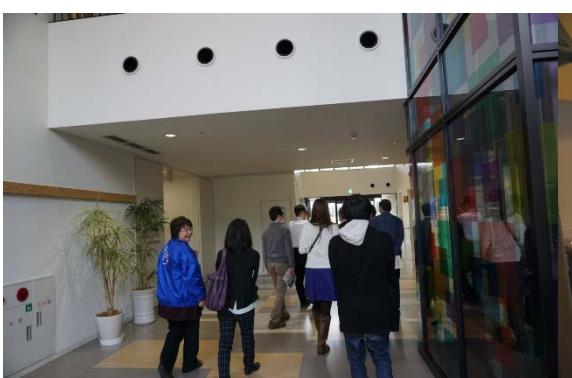
<http://www.minami-hp.jp/about/index.html>



よってって横丁外観



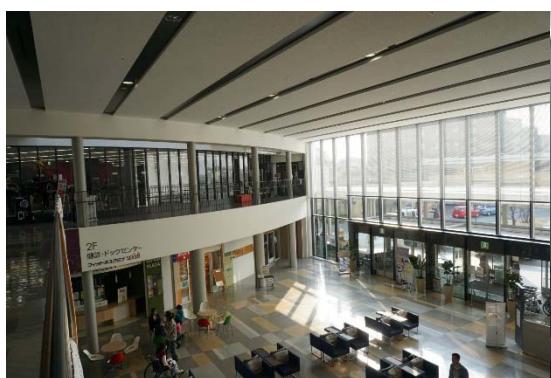
1階にはカフェやベーカリー、バーも。



駅への通勤時に通り抜け可能



サービス付き高齢者向け住宅 居室（約 25 m<sup>2</sup>）



地域に開放された南生協病院の待合



杉浦理事による生協の取り組み、概要説明